

三島駅南口西街区開発

市が事業者公募

25日から

三島市は25日から、具体的には伊豆・箱根、富士山への観光客を呼び込むための観光交流拠点整備する方針の三島駅南口西街区(0・34ha)について事業者公募を始める。11月の応募締め切りと事業者ヒアリングを経て年内にも審査結果を公表する。西街区は2012年に策定した駅周辺の全体構想(グランドデザイン)で、にぎわいの創出と交流人口の拡大を図る拠点に位置付けた。

具体的には伊豆・箱根、富士山への観光客やインバウンド(訪日旅行者)をターゲットにシティーホテルを建設する。事業者は市の玄関口にふさわしい都市景観の創出や特産品販売機能の導入など、市が提示する条件を踏まえることが応募の前提になる。市はホテルの開業を東京五輪前と見込み、観光客の大幅増を狙う。